



令和8年1月22日

午後1時30分

令和7年度骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会を開催します

- 1 日 時 2月15日(日) 午後1時30分～3時30分
- 2 主 催 一関市博物館
- 3 報 告
 - ① 「まつり田」のなかの「こまか田」
菅田慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)
 - ② 中尊寺所領としての骨寺村―他事例との比較から―
岡陽一郎氏(東北芸術工科大学准教授)
 - ③ 天明飢饉の影響について―乏しい資料― 菊池勇夫(当館館長)
 - ④ 村役人層と和算 相馬美貴子(当館主任学芸員)
- 4 場 所 一関市博物館(巖美町字沖野々215番地1)
- 5 定 員 50人
- 6 その他

参加は無料ですが、事前に電話申込が必要です。

詳しくは、博物館ホームページで確認できます。

問い合わせ先

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1

一関市博物館 主任学芸員 相馬

電話:(0191)29-3180 FAX:(0191)33-4006

メールアドレス:hakubutsukan@city.ichinoseki.iwate.jp

令和7年度 骨寺村莊園遺跡村落調査

研究報告会

令和8年

2月15日(日)

13:30~15:30

会場: 一関市博物館

定員 50名(参加無料)

申し込み 一関市博物館
(0191-29-3180)

研究報告 〈各30分程度〉

「まつり田」のなかの「こまか田」

誉田 慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)

中尊寺所領としての骨寺村 — 他事例との比較から —

岡 陽一郎氏(東北芸術工科大学准教授)

天明飢饉の影響について — 乏しい資料 —

菊池 勇夫(当館館長)

村役人層と和算

相馬 美貴子(当館主任学芸員)

企画展開催中

村の学びと楽しみ

— 本寺肝入の蔵書から —

令和8年1月24日(土)~3月22日(日)

村の肝入(名主、庄屋)の家では、教養書から実用書まで、さまざまな種類の本を集めて生活に活かしていました。それらの蔵書は村の内外に貸し出されて知識が広まりました。本寺の肝入の家に伝えられた書籍などから、村の文化と教養を探ります。

「越後国地震の口説」
(慶応2年骨寺で書く)



特別展示実施中

骨寺村莊園900年記念

天治3年(大治元年・1126年)3月25日付の古文書に、骨寺を中尊寺経蔵別当領とすることが記されています。莊園としての骨寺村の始まりから900年を記念して、「一関のあゆみ」展示室に発掘成果などを展示します。



駒形根神社境内出土の鉄磬
(一関市教育委員会提供)

申し込み・
お問い合わせ

一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215-1 ☎0191-29-3180
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum>

